

五穀豊穣願い伝統の虫送り

集落を見守る個性的な「虫」

田植え作業が終わった5月下旬から6月にかけて、市内各地で虫送りが行われました。

虫送りは、稻に被害を与える害虫を追い出し、五穀豊穣や無病息災を願い、田植え後に集落単位で行われてきた農村の伝行事です。人口減少や生活様式の変化などに伴い衰退傾向にあるものの、今なお伝統を守り地域の連帯を深めている地区もあります。

虫送りの「虫」は、地元の熟練者が龍のような頭に稻わらなどで胴体を取り付けて製作。集落内を練り歩き、村の境に安置し、災いが入らないことを願います。集落を見守る各地区のさまざまな「虫」を紹介します。

蓮川地区

虫おくり



菰柏地区



菰柏地区

筒木坂地区



筒木坂地区

下古川地区



下古川地区

上派立地区



上派立地区

上古川地区



上古川地区

広須地区



広須地区

